

令和5年6月26日

東浦町議会議長 殿

文教厚生委員会
委員長 秋葉富士子

文教厚生委員会視察先検討結果書

1. 視察先選定に至る経緯

(1) 令和5年6月16日(金)第1回検討会議(第2委員会室)

*意見の集約(以下のとおり委員から提案)、日程調整を実施。

*各委員が持ち寄った調査研究すべき調査事項。

・前田委員から「中学校部活動の地域移行について」の調査事項の提案があった。令和5年9月からの本町の部活動地域移行の参考とすることを目的とする。

・秋葉委員長から「子育て支援 5つの無料化について」の調査事項の提案があった。本町独自の子育て支援の取り組みの参考とすることを目的とする。

・山田委員から「個別避難計画策定について」の調査事項の提案があった。今年度から本町で策定予定の個別避難計画の参考とすることを目的とする。

・北野副委員長、三浦委員からの提案はなかった。

・以上提案のあった調査事項について他の委員も研究し、次回の打ち合わせに意見を持ってくることとした。

・視察日程は、調整の結果下記2のとおり候補日を決定した。

(2) 令和5年6月23日(金)第2回検討会議(第2委員会室)

*1つ目、2つ目の調査事項を決定(以下のとおり各委員から意見)

・前田委員案は、令和5年9月から実施予定の本町の中学校部活動地域移行の課題、今後の推進の参考になると考える。(北野副委員長、三浦委員)

・秋葉委員長案は喫緊の課題であり、必要と考える。(三浦委員)

・山田委員案は本年度から策定予定の個別避難計画の参考になると考える。(秋葉委員長)

・検討の結果、1つ目の調査事項を「中学校部活動の地域移行について」、2つ目の調査事項を「子育て支援 5つの無料化について」、補欠の調査事項として「個別避難計画策定について」に決定。

・次回までに調査事項について全委員が研究し、調査内容、質問事項の案、視察までの予定について意見を持ってくることとした。

(3) 令和5年6月26日(月)第3回検討会議(第3委員会室)

*視察候補地、調査事項、質問事項の案、視察までの予定等について意見交換。

・視察候補地、調査事項について下記3のとおり決定した。

・質問事項の案は下記7のとおり決定した。

・視察までの予定については、下記8のとおり決定した。

2. 視察候補日

・令和5年10月12日(木)～13日(金)

(1)

- ・令和5年10月17日(火)～18日(水)
- ・令和5年10月30日(月)～10月31日(火)
- ・令和5年10月31日(火)～11月1日(水)
- ・令和5年11月1日(水)～2日(木)

3. 調査事項及び視察候補地

- (1) 「地域運動部活動推進事業について」大阪府泉大津市
- (2) 「子育て支援 5つの無料化について」兵庫県加西市
- (3) 補欠の調査事項「個別避難計画の策定について」は視察候補地未定。

4. 調査事項の選定理由

(1) 「地域運動部活動推進事業について」の選定理由は、国からの「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」等を受け、本町では、令和4年度から検討会を計7回、協議会を計4回開催し、さらに小5、6年及び中1の児童生徒とその保護者、教職員を対象にアンケートを実施した。そして令和5年4月にスポーツ指導者人材バンク登録者の募集開始、5、6月に保護者等への説明会を開催、9月から「ひがしうら地域クラブ」として活動を開始する予定である。現在、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、柔道、剣道の5種目を準備しているが、アンケートの結果等から、今までの部活動にない種目(バドミントン、レクリエーションスポーツ等)も検討する予定である。その活動を実践するにあたり、参考となる先進地事例として、令和3年度スポーツ庁の委託事業地域運動部活動推進事業である大阪府泉大津市の「地域運動部活動推進事業 レクリエーションスポーツ等の提供」が適切と判断し、決定した。

(2) 「子育て支援の取り組み 5つの無料化について」の選定理由は、国が少子化対策、子育て支援に力を入れている背景のもと、子育て応援のまちを掲げている本町として、さらに独自の子育て支援の取り組みを考えていくことが重要である。公立保育園の教育認定児の入園・給食の無料化等の独自の取り組みをしているが、さらに子育て支援の取り組みとして、保育園の利用料の無料化、子育て用品の支援等が考えられるが、その先進地事例として「5つの無料化(保育料の無料化、給食の無料化、医療費の無料化、オムツ等の無料化、病児病後児保育の無料化)等をはじめとする独自の子育て支援」を実施している兵庫県加西市の「子育て支援 5つの無料化」が適切と判断し、決定した。

(3) 「個別避難計画の策定について」の選定理由は、令和5年度から本町では個別避難計画の策定のため、個別避難計画作成コーディネーター配置事業を開始する。これは自ら避難することが困難な避難行動要支援者に対し、個別避難計画を作成するにあたり、作成にかかわるケアマネジャー等とその他支援関係者とのつなぎや計画の管理、個別避難計画の周知等を行うためのコーディネーターを配置し、災害時の安心につながるものである。新事業でもあり、先進地を調査することが適切と考え、補欠調査事項として決定した。

5. 補欠候補地

- (1) 「地域運動部活動推進事業について」の補欠候補地。
 - ①東京都日野市
 - ②茨城県つくば市

(2)「子育て支援 5つの無料化について」の補欠候補地。

①兵庫県明石市

(他に大分県豊後高田市、北海道白糠町があるが、遠隔地のため候補地から外す。)

6. 視察先の選定理由

(1)「地域運動部活動推進事業について」

①大阪府泉大津市は令和3年度のスポーツ庁委託事業の「地域運動部活動推進事業」の実践地域であり、先進地事例である。本事業は、本町が中学校の休日の部活動を廃止することに伴い、令和5年9月から活動を予定している「ひがしうら地域クラブ」の内容、運営方法等の課題、今後の活動推進の参考になると思われる。さらに人口が、約73,000人と本町と同規模であり、3中学を有することも実践が参考になると考え選定した。

②東京都日野市は、前述の泉大津市と同様、令和3年度のスポーツ庁委託事業の「地域運動部活動推進事業」の実践地域であり、先進地事例である。人口は約187,000人と本町に比べ多いが、企業と連携した取り組みが、今後本町の「ひがしうら地域クラブ」の運営等に参考になると考え選定した。

③茨城県つくば市は、前述の泉大津市と同様、令和3年度のスポーツ庁委託事業の「地域運動部活動推進事業」の実践地域であり、先進地事例である。地域の大学など多様な組織と連携し、幅広く指導者を派遣している取り組みなどが、今後本町の「ひがしうら地域クラブ」の運営等に参考になると考え選定した。

(2)「子育て支援 5つの無料化について」

①兵庫県加西市は、人口が約42,000人と本町と同規模であり、5つの無料化についても、今後本町が取り組むとよいと思われる子育て用品の配布、病児病後児保育の無料化等の先進地であり、本町の取り組みの参考になると考え選定した。

②兵庫県明石市は、人口が300,000人等、本町と比べ自治体規模が大きいですが、子育て支援の先進地で、保育料や医療費などの経済的な支援はもちろん、子育て環境の整備や教育にも力を入れていることから、本町の取り組みの参考になると考え選定した。

7. 質問内容(案)

(1) ①大阪府泉大津市

- ・取り組みまでの経緯。
- ・大学、企業、住民との連携はどのように行ったのか。
- ・ダンス、ヨガ、トレーニング、レクリエーションスポーツの種目を選択した理由は。
- ・レクリエーションスポーツの内容は。
- ・活動場所はどのように選択したか。

②東京都日野市

- ・取り組みまでの経緯。
- ・地元企業と締結した包括連携協定の内容は。
- ・専門性の高い人材をどのように地域スポーツの指導に参画してもらったのか。
- ・住民との連携はどのように行ったのか。

③茨城県つくば市

- ・取り組みまでの経緯。
- ・事務局の運営団体「つくばFC」の詳細な内容は。
- ・地域の大学との連携はどのように行ったのか。
- ・専門的な指導者の派遣による効果は。

(2) 2候補地共通

- ・5つの無料化の詳細な内容。
- ・財源は。
- ・人口増の効果は。
- ・経済的支援以外の取り組み内容は。
- ・5つの無料化のメリット、デメリットは。

(3) 未定

8. 視察までの予定（勉強会の実施等）

- ①議長に本書により報告し、議会事務局に視察先との調整を要請。
- ②視察先が2か所選定できない場合は、第4回検討会を7月中に実施。実施日は未定。
- ③議会事務局より調整完了した視察先の報告を受け、議長に所管事務調査通知書を提出し、視察先に依頼文書を送付する。
- ④当局に事前勉強会を要望。8月下旬～9月上旬を目途に実施し、(1)の調査事項が決定した場合は、「ひがしうら地域クラブ」を見学し、終了後委員による最終調整会議を実施。その際に質問事項決定。